

+++++

今年の発見、その三つ

動物応用科学科 4年 木村 碧

今年最後の月になってしまいました。さて、今年の日常生活の中で新しい発見をしました。そのうちの三つを紹介します。

「大移動！？初めて見たよ！」

あれは、梅雨の頃。そして多分、雨が上がった次の日。麻布大学にあるイチョウ並木の道を歩いているときに遭遇しました。

1m×1m くらい、それ以上？の大きさのアリの群れが道の端から端へ横断していました。アリは、みんな様々な方向へ歩きながら、道を横断していました。そして、横断し終わったくらいに、新しい巣を作る場所を見つけた瞬間、一斉に猛スピードでその場所へ向かっていったんです！この時のスピードがすごく速くて本当にびっくりしました。アリは道標フェロモンを分泌して情報伝達をしていると学んで、そう思い込んでいたので、アリが一斉に動き出したのを見て、フェロモン以外に何かあるのかなーと思ってしまいました。

それを目撃してからは、雨が上がった次の日、また、アリの大移動を見ることができました。一度気づくと気付くようになるので、探しがいいがあります。

このアリの大移動は動画撮影しました。ただし画像は約 6 分。辛抱強く見られる方はいっしょに眺めましょう。

「葉を食べるんだね！」

通学では、地元の小さな商店街の前を歩いて、最寄り駅へ向かっています。その商店街の周りには木々が均等に並び、根元には様々な園芸種の植物が植わっています。その園芸種の植物の中に「ハボタン」という白や紫色をしたキャベツのような植物が植わっています。ある日、そのハボタンに視線を向けると、ハボタンの葉をヒヨドリが食べていました！本当に、驚きました！

「鳥って葉を食べるんだ！」

このことを母親に話したら

「うちのハボタンも食べているわよ」

とあっさり言われました。母親にとって日常的出来事だったみたいです。それからは、家でもこの出来事を目撃することができ、家の庭で新しい観察が一つ増えました。

今、この文章を打ち込みながら気づきました。インコ系の鳥が葉を食べるところを見たことがありました。

「やっど？あなたのお姿、拝見しましたよ」

2、3 年前から？時々屋根裏に動物が訪問してきます。初めは、屋根にあった糞がテンらしきものだったので、テンだろうと、いつか会えるかと夢見ていました。しかし、足音からしてネズミだと判断しました。そして、ネズミと判断すると「ドブネズミ」か「クマネズミ」、どちらにしても「汚い」と思っていました。

11 月末のことです。白昼堂々と庭にそのネズミが現れました。耳介が大きかったのでクマネズミだと判明しました。10 分くらい庭にいたので観察しているうちに

「野生下で暮らすネズミの姿だなー」
と思いなおしました。そして、陽に照
らされていたせいか
「遅いなー」
とも思いました。そしてその時、
「きたくないじゃん」
と思いました。
すぐに母親に
「お母さん！来て、来て！すごいよ
ー！！」
と呼び、

「屋根裏の奴はあいつか？」
と話しました。
私は動物が陽にあたり輝いていると
「遅く」見えてしまうようです。水
族館のジンベイザメを見ても遅しいと
は思いませんでしたが、野生下のジン
ベイザメは遅しいと思いました。その
違いは何だろうと考えたときに、陽が
あたっていないからだと思いあたりま
した。